

協定留学近況報告書

記入日	2019年9月20日
留学先大学	ヴェネツィア大学(Universita Ca' Foscari Venezia。当然だが、現地ではカフォスカリと言わないと、大学名が通じない。ヴェネツィア本島に主要大学が4つもあるため)
留学先での所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): _____, (現地言語での名称): _____ <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他: _____
留学期間	2019年9月-2020年2月
明治大学での所属	文学部文学科文芸メディア専攻 / _____ 研究科 _____ 専攻
学年(出発時本学での学年)	学部2年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 _____ 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

蚊よけ対策グッズをとにかく、惜しまずに、沢山持っていくこと。特に、学生寮(ジュデッカ島)に住む人は、かなり蚊に悩まされている。ヴェネツィアでは11月くらいまで蚊が生きており、刺されるとものすごく腫れる。持ってきてよかったものは、インスタント味噌汁・お茶漬け・日本米・電子レンジ用の炊飯器。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類: 交換留学用就学ビザ	申請先: 在東京イタリア大使館
ビザ取得所要日数: 2週間(書類に不備が無ければ2週間が最短らしい) (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 無料

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

①近影カラー証明写真(パスポートサイズで、背景は白)1枚②パスポート本体(ビザ失効日=帰国予定日より3ヶ月以上の有効期間と未使用のページが2ページ以上残っているもの)③パスポートのメインページのコピー④日本国籍保有者は直近(1週間以内)の住民票⑤住居の証明書(大家に頼むとメールで送られてくる)⑥保護者の保証書⑦保護者の口座の実印登録証明書⑧資金の入っている保護者名義の銀行口座(過去6ヶ月にわたり安定した資産状況が確認できるもの)の通帳本体とそのコピー⑨保護者のパスポートのコピー⑩イタリアの大学からの入学許可書⑪明治大学からイタリア総領事館にあてた英文ビザ発給依頼書(国際教育事務室で受け取る)⑫両校のあいだで取り交わされた交換留学協定書のコピー(国際教育事務室で受け取る)⑬滞在の全期間をカバーする、医療費の項目が無制限の海外傷害保険の契約書(原本とコピー。明大マートで早めに加入)

具体的な申し込み手順を教えてください。

予めネットで予約をした日に、必要書類を提出する。住居先が決まっていなくても、ビザ申請の日だけは予約をしておいた方が良いのではと思う(その申請日が来るまでに住居を用意し、大家に住居書類をもらうべき)。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

書類を完璧に揃えて行ったため、書類に記入したことを、確認として読み上げられただけだった。

ビザ取得に関して困った点・注意点

ネット予約が基本的に1か月先まで取れない上に、平日の9時半か10時半しか予約の枠がないので、注意すること。また、大使館の門が3つあり、ビザ手続きの入り口が分かりにくいので、時間には余裕をもって訪れること。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

Amazonで2000円・12GB・30日間でのSIMカード(イギリスのThree社)のものを予め買い、渡航した。あまり接続は良くないが、このSIMカードで2週間くらい生活していた。このおかげで、空港からアパートまでスムーズに辿り着けた。SIMカードは成田空港で入れ変えておきスマートフォンを電源を切り、現地の空港に着いてから電源を入れ、設定をするという手順。日本語の説明書付きなので簡単。ヴェネツィア大学に限らず、ヨーロッパ留学をするなら買うべき。また、WhatsAppは大家などとのやりとりに必要なので、絶対にダウンロードしておき、使い方を日本で学んでおくこと。また、Google Mapのオフライン機能か、Maps Meというオフラインマップのアプリを利用すると良い。更に、重要書類は何枚もコピーしておき、USBとSDカードにバックアップをとった上で、Drop Boxというアプリをスマートフォンに入れ、パソコンと同期させ、オフラインで利用できるようにしておくことが大切。こちらには日本のコンビニのような、安く手軽な印刷の場所はない。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	ターキッシュ・エアラインズ				
航空券手配方法	HISの支店へ直接行き、購入。ネットでもできるようだったが、初めてのオープンチケットの購入だったため、HISのスタッフと相談しながら航空券を購入した。オープンチケットの当日にはパスポートを持参していき、後日、就学ビザの取得ができたか電話で確認を取られた。6月の中旬にはすでに購入したため、安く済んだ。 ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	マルコ・ポーロ空港(テッサラ空港とも呼ばれる)	現地到着時刻	8:25		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 知人の出迎え(バディ)	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	1時間半(空港～キャンパス)				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

自分はヴェネツィア本島にアパートがあったため、Aliagunaという会社のヴァポレットを利用した。ヴァポレットは何社もが競合しており、路線やルートがそれぞれ異なる。不安な人はバディに自分の住所を教え、最寄りの降車駅を予め訊いておくとうい。メストレに住んでいる人は、空港からバスが出ているようだ。

大学到着日 9月2日 14時頃

2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい	いいえを選んだ方:	月	日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮	<input checked="" type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他()	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他()	
ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生(2名) <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生(アメリカ人学生1名) <input type="checkbox"/> その他()			
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()			
住居の申込み手順	自分の場合は、入学手続きの直前になってヴェネツィア大学に行くことが決まった(もともとは別の大学の入学手続きをしていた)ため、学生寮に入るのは(時期的に)不可能だった。かなり動揺していたが、ヴェネツィア大学に留学したことのある4年生に助けを求め、ヴェネツィア大学に留学中だった3年生を紹介してもらった。その3年生に、当時その人が住んでいたアパートの大家を紹介してもらい、結果として住居が決まった。元々、留学開始の半年前から、ヴェネツィア大学に留学していた4年生に連絡をとっていたため、無事住居を決めることができた。2人の先輩方には、本当に感謝している。			

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？	
<p>アパートはコンロの火がつかない、お湯が出ない、家の鍵がない、窓が壊れている、電球が初めから切れているなどと、トラブルの連続だった。しかし大家と密に連絡を取り、こつこつと直してもらった。初めは個人部屋の鍵がないことが非常にストレスで、よく眠れなかったが、だんだん「これがイタリアなんだな」と思えるようになった。こちらでは個人部屋の鍵を基本的にかけない文化で、しかも自分が部屋にいない時でも、扉を開けばなしにする留学生が多いようだ。自分は同じアパート(4人で1フロアをシェアしている)に日本人が多いため、常に扉を閉めるようにしている。パスポートとカード類(クレジットカードとデビットカード計3枚。VISAとMaster)はスキミング防止ケースに入れ、常にウエストポーチで携帯している。</p>	
3.留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9月6日。他に候補日が3つあり、学部ごとに分かれているが、特定の学部には所属しない自分たちには、その区分は特に関係ない。なるべく早い日のガイダンスに出て、日本人の留学生や大学の職員との交流を深め、授業履修の情報を集めることが大切だと思う。当然だが、早く着いた人の方が生活に馴染みやすく、情報を得やすい。
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は？	オリエンテーションでは、前もってメールに書かれていた事柄以上のことは何も言われず、授業履修についても、全く新しい情報を得られなかった(授業履修に関しては、自分から大学事務に訊かないと、話が進まない)。他の留学生との交流の場。ここでヴェネツィア大学に何年も留学している日本人と知り合っておくと、非常にスムーズに物事が進む。
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった(留学生用特別ガイダンスにしか参加できない) <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月9日から



IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

①タバッキというタバコ屋で 16 ユーロの印紙を買う(どこにでもタバコ屋はある)。②郵便局で専用の書類セットをもらう。③パスポートの全ページのコピーをする。④書類にイタリア語で必要事項を記入し、保険の証明書のコピー(英文)、パスポート全ページのコピー、入学許可証のコピー、印紙を同封する。保険の証明書と入学許可証には、ビザ申請の時に大使館に押しってもらうハンコが写っていないといけない。⑤郵便局に書類を提出する(手数料として 100 ユーロ以上とられる)。⑥警察署への呼び出し日を指定される。⑦5 か月後に呼び出された場所へ行く。

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

トラブルは経験しすぎて、ここでは書ききれない。現地に着いてすぐに救急病院にも行ったし(目に怪我をした)、セクシュアル・ハラスメントにも悩まされた。アパートは色々と壊れていたり、同居人が勝手に(他の入居者の部屋に)友人を 1 週間も泊めたりと、困ったことばかりだった。ただ、次第に慣れてくるもので、もはや今は電車が止まっても、ある日窓が壊れても、郵便局で 1 時間待たされても「ああイタリアだなあ」という感慨が湧いてくる。留学を考えている人は、漠然と不安を抱えていると思うが、だいたいのことは何とかなるので、大丈夫。イタリアで暮らすコツは、問題が起きたら、とにかく黙ることなく主張すること(相手は自分が悪くても非を認めないことが多い)と、美味しいものを食べて、よく眠ること。これに尽きる。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

特にしていない。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

特にしていない。もともと日本で使い慣れていた SIM フリーのスマートフォンを持っていき、Vodafone で SIM カードを購入。初月 21 ユーロ、翌月から 15 ユーロで、30GB が使えた。イタリア国内であれば SMS と通話は無制限だった。Vodafone は TIM(日本でいう docomo のような存在)よりも多少高いが、ネット回線、通話の接続がとても良い。また、スタッフの対応が細やかで、分からないことがあったら何度も聞きに行けた。更に、Vodafone はヨーロッパ全土で使えるため、帰りの乗り換えでも使えて便利。日本まで安心して帰れる。

TIM にしなかったのは、他の明治大学の留学生在が TIM でトラブルに遭っていたこと。TIM のスタッフの対応の評判が悪かったこと。家の近くの Vodafone の店舗評価が高かったこと。イタリア国外では使えないことが理由だ。Vodafone は TIM より高めなのだが、いつでも丁寧に対応してくれるというメリットを重視した(ただし店舗によって対応、料金体系が違うので、予め Google で店舗の評価を見るべき。また、緊急時に病院や警察に電話をするために、多少高くとも、通話のできるプランを契約することを強く勧める)。



V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(上述した通り、自分は急遽ヴェネツィア大学の留学が決まったため、他の学生とは手続きの時期が異なる)

オンラインで登録(メールに添付されてきた所定の紙に、取りたい科目を記入して、スキャンしてメール送付。その段階では、暫定のスケジュールで良い。その後、SIE という留学生専用授業の履修登録も、また別のメールのリンクから行う)

志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(10月17日まで登録・変更可能。これが本登録)

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

上述の通り。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

現地で、Incoming Mobility と SIE の事務メールで変更を希望した(科目の種類ごとに窓口が違うので注意)。授業時間の重複により、日本で想定していたような履修登録はできなかった。時間割が出るのがとても遅いので、事務室へメールしたり、日本人留学生のネットワークを使って、日々情報収集に励むことが必要不可欠。「留学中に日本人と関わらないようにしよう」という人は多いと思うが、ここでは日本人と連携した方が、物事がスムーズに進む。英語を使う意識を忘れなければ、日本人との交流はストレス発散にもなり、おすすめ。



Ⅵ. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	起床 ごみ出し・朝食	起床 ごみ出し・朝食		起床 ごみ出し・朝食		起床 ごみ出し・朝食	
8:00	授業		起床 ごみ出し・朝食	家族や友人との 電話	起床 ごみ出し・朝食	家族や友人との 電話	起床
9:00	授業					家族や友人との 電話	朝食
10:00	授業	授業					家賃の支払い、 洗濯、掃除など の雑用
11:00	授業	授業	授業		昼食		家賃の支払い、 洗濯、掃除など の雑用
12:00	授業	授業	授業	授業	授業	授業	友人と料理
13:00	授業	家賃の支払い、 洗濯、掃除など の雑用	授業	授業	授業	授業	友人と遊ぶ
14:00	授業	スーパーへ買い 出し・ランチ	授業		授業		友人と遊ぶ
15:00	軽食	自炊(作り置き)	軽食		授業		友人と遊ぶ
16:00	授業	自炊(作り置き)			授業		友人と遊ぶ
17:00	授業		授業		授業		友人と遊ぶ
18:00	授業	夕食など	授業	夕食など	授業	夕食など	夕食など
19:00	授業		授業	復習	夕食など		
20:00	夕食など		夕食など(たま に外食)				
21:00							
22:00							
23:00							
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

ヴェネツィア大学は、バディ制度が優れている。イタリア随一の日本語学校があるため、日本語学科の生徒がバディとして助けてくれる。彼らは日本の文化をよく知っているため、言葉に不自由があっても、日本の俳優や文学作品の話で盛り上がる事ができる。そういった意味では、英語に自信がない人でも、この大学は比較的留学しやすい大学だと思う。事前に「バディリスト」というものがメールで添付されてくるため、その中から日本に興味のある人を選んで、メールを送る。そこから、LINE・WhatsApp・Instagramのアカウントを交換し合い、積極的にメッセージを送り、渡航前に相手の人柄を知ったり、自分の好きなものを伝えておくのが良い。複数人とバディとやりとりしておくのがコツ(バディは複数人いて良い)。

また、Facebookに「イタリア何でも掲示板」というグループがあり、そこにはイタリアが大好きな日本人が沢山いる。そのグループに参加すると、インターネットで検索するよりも効率的に、かつ詳しい情報が得られる。また、困った時はここで相談すれば、イタリア生活の経験が豊富な日本人が答えてくれる。ぜひ参加すべき。FacebookのアカウントがあればMessenger経由でビデオ電話もできる(LINEの電波不良の時に、Messengerの通話機能があると便利。家族や友人との連絡手段は複数確保すべき)。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

ヴェネツィア生活は(というより留学は)、とても大変だ。覚悟しておいた方が良い。観光客気分ですぐ街並みを楽しめるのは、せいぜい10日くらい。電車が突然止まったり、顔中を蚊にさされて腫れたり、(建物が古くて)ある日突然、窓の破片が落ちてきたりする。ヴェネツィア本島では、電車、自転車、トラム、自動車の全てが禁止されているため、多い日は1日に(キャンパス移動とスーパーによるだけで)15キロも歩くことも、1日に平均7キロは歩いている。ほぼ毎食自炊をしているので、日本にいるよりも規則正しく、健康的な生活を送っている。ただし学生寮には電子レンジしかないの、学生寮の人は自炊できていないようだ。

こちらに来て2週間くらいは、「何もかもが効率的に進む日本」が恋しかった。特に、着いてすぐに緊急病院に行く羽目になった時は、豪雨、雷、そして強風の中を泣き叫びながら歩いていた。留学先で、自分を助けられるのは結局、自分しかいない。強くあらなければいけない場面が毎日のようにやってくる。自分はホームシックにはなっていないが、他の日本人は、着いたらすぐにホームシックになっている人がとても多い。動画を見て、引きこもっている人も一定数いる。留學生活に期待しすぎず、現実的に捉えておいた方が良い。自分で家事などをこなす上で、英語で授業を受けなければいけない生活の大変さを感じる。

それでも、ヴェネツィアは良いところだと思う。来たことを全く後悔していない。自分の場合は美術が好きなので、学生証を片手に、教会や小さなギャラリーの絵画や建築を見て回っている。週末はバディの家に行ってイタリア料理を作ってもらったり、自宅へ招いて日本料理を振る舞ったりする。共通の趣味の話で盛り上がっている時間は、とても楽しい。スーパーで見知らぬ食材を見つける楽しさもある。初めは別の大学に留学する予定だったので、ヴェネツィア生活を楽しめるか不安だったが、むしろ今は、ヴェネツィアで良かったと思っている。見慣れてきたとはいえ景色は綺麗だし、外でぼうっとしているだけでも楽しい。留学を考えていた頃はとても不安で、こちらに着いてからもトラブルの連続だったが、結局、今はどうにかなっている。事故や事件を必死にくぐり抜ける中で、英語のスピーキング力も自然と向上した。日本に比べたら不便なことばかりの国だが、その分だけ独力で生き抜く強さや、効率を考えずに、のんびりと過ごす感覚を得られると思う。

<追記>

【重要】アックア・アルタ(ヴェネツィア特有の高潮現象)の対処方法に関して

●ヴェネツィア本島内に住む場合、住居は必ず2階以上にすること。1階に住むと、荷物が全て浸水する。実際に、1階に住む日本人留学生が、今回のアックア・アルタにより、重要書類などを含めた荷物全てを失った。アックア・アルタに対応した保険もあまりないため、そもそも被害に遭わないようにする努力が必要である。サンマルコ広場近くが最も浸水しやすい地区なので、その辺りの1階に住むのは避けること。

●アックア・アルタが発生した場合、基本的にスーパーや携帯会社などは、長い期間閉業する。ヴェネツィア本島では、Desper Teatro Italiaというスーパーだけは利用できる可能性が高い。早めに行き、食糧を買い貯めること。また、アックア・アルタ発生時に、メストレ(ヴェネツィア本島外・治安のあまり良くない地区・物価は安い)に外出した場合、ヴェネツィア本島に

数日間戻れなくなる可能性があるため、下手に外出はせず、自宅で待機すること。今回も、ヴェネツィア本島に戻れなくなった日本人が何人もいた。

●アックア・アルタの水位予報の確認は、ヴェネツィア大学から「Acqua Alta -Hi! Tide Venice」というアプリを使うことが推奨されている。また、Facebook のヴェネツィア大学公式アカウントでは、(イタリア語で)アックア・アルタの最新情報が流れる。おすすめなのは、ヴェネツィア大学の学生による、Instagram 公式アカウント「Student life in Venice」をフォローすること。ここではリアルタイムのアックア・アルタの情報を、英語で知ることができる。

●天気が良い日が続いていても、アックア・アルタは突然発生する。以上の情報を「大げさだな」と決して思うことなく、きちんと対策をとること。特に、長靴は早めに用意することが望まれる。通学路は毎年必ず浸水する。長靴はアックア・アルタの発生後に売り出されることが多いが、それでは間に合わない可能性が高いので、早めに調達すること。長靴は(2019年11月時点では)以下の場所で手に入れることができる。

Minimarket - Soveco s.r.l.

Sestiere Dorsoduro, 2998, 30100 Venezia VE, イタリア

+39 041 528 6737

<https://maps.app.goo.gl/JUP9agCu3sCoAfX97>

●ヴェネツィアで長靴を買くと、15~20ユーロはかかる。そのため、日本から予め持ってくるのも良いだろう。ただし、決してデザイン性やコンパクトさを重視してはならない(全く役に立たない)。田植え用くらいの、頑丈で大きめの長靴が必要である。ヴェネツィアに行く前に、参考までに以下の YouTube 上の動画(2018年のアックア・アルタ)を見るのが望ましい。実用的な長靴の重要性が、分かるはずだ。

2018年のアックア・アルタの様子

<https://youtu.be/3xDoYhf53U4>

ヴェネツィアは本当に素晴らしい場所で、住んでみないと分からない魅力が沢山ある。しかし、秋から冬の間にかかる、アックア・アルタと付き合いながら暮らさなければならないのも、また事実である。きちんと対策をとれば身の安全は確保できるし、アックア・アルタに遭遇するという経験も、住んでみるからこそ味わえる貴重なものだ。地球環境問題や観光業の及ぼす悪影響を考える、良いきっかけにもなるだろう。少しでもヴェネツィアに留学をしたいと思う人は、アックア・アルタの対策をきちんとした上で、ぜひ留学してみしてほしい。